

令和7年度 河野美術館、玉川近代美術館及び今治城 指定管理者モニタリング結果

施設名	河野美術館、今治城及び玉川近代美術館
所在地	今治市旭町1丁目4番地8、今治市通町3丁目1番地3、今治市玉川町大野甲86-4
指定管理者	名 称 一般財団法人 今治文化振興会 代表者 理事長 檜垣 幸人 住 所 今治市旭町1丁目4番地8
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	総合政策部 交流振興局 文化振興課 TEL : 0898-36-1608 E-mail : bunka@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の目的である「学術文化に関する資料を収集管理して公衆の観覧に供し、あわせて調査研究並びに保存顕彰につとめ、文化芸術の振興に寄与すること」を達成するため、条例、規則、仕様書等に従い、適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的や基本方針を踏まえ、条例・仕様書等に則った管理運営が適切に行われている。職員への周知や利用者への広報についても一定の取組が見られ、おおむね適切な運営体制が確保されている。今後も利用者への効果的な情報発信及び基本方針のさらなる浸透が期待される。
利用状況	B	施設利用者については、情報発信や企画展示の充実、キャッシュレス決済への対応等、利用者の利便性向上に努めました。今治城では開館以来初となる年間入館者数10万人を達成するなど、一定の成果が見られました。今後も魅力ある展示や効果的な広報により、更なる利用促進及び満足度向上に努めます。	B	施設全体として利用者数や使用件数はおおむね良好に推移しており、各種取組に一定の成果が見られる。特に今治城では開館以来初となる年間10万人超の入館者を達成しており、展示内容や情報発信の工夫による成果がうかがえる。一方で、利用状況分析や目標達成に係る検証については、更なる充実が期待される。
事業収支	A	公益法人会計基準を遵守し、施設ごとの収支についても適切に把握するとともに、会計事務所との協議を行いながら経理処理を実施しました。また、LED化等の施設改修を実施しつつ、健全な財務運営に努めました。	A	収入はおおむね安定しており、支出についても適切に管理され、健全な財務運営が図られている。LED化等の施設改修を実施しながら収支均衡を維持している点は評価できる。今後も施設別収支の適切な把握及び経営分析の充実を図り、安定した施設運営に努められたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	人員配置体制は仕様書に基づき適切に運用しており、勤務ローテーションについても関係法令を遵守しています。また、収蔵品の管理・保存・調査研究や企画展の実施にあたっては専門学芸員を配置し、各種研修等を通じて専門性の向上に努めています。	B	施設ごとに必要な職員体制の確保に努めており、学芸員や防火管理者など必要な資格者の配置についてもおおむね適切に行われている。また、研修への参加や職員間の連携体制についても一定の取組が見られる。 一方で、施設運営や収蔵品管理、企画展示等、業務内容の多様化に伴い、専門人材の確保及び育成については、今後も継続的な取組が求められる。
管理運営業務	B	仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守し、清掃、保守点検、警備等の維持管理業務について適切に実施しました。また、市との協議・連携を図りながら、安全かつ安定した施設運営に努めました。	B	各館において、仕様書に基づき管理・運営業務がおおむね適切に実施されており、文化財の管理や清掃・警備等も一定水準を維持している。引き続き、保守点検等の更なる精度向上を図りつつ、安定的で安全な施設運営に努めることを期待する。
利用業務	B	幅広い世代に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、キャッシュレス決済への対応など利用者の利便性向上に努めました。今治城では開館以来初となる年間入館者数10万人を達成するなど、常設展・企画展の充実や情報発信の取組による成果が見られました。今後も魅力ある展示や効果的な広報を通じ、更なる利用促進に努めます。	B	利用受付や利用者対応はおおむね適切に実施されており、利用案内や減免手続等についても適切に運用されている。今治城では年間入館者数10万人を達成するなど、広報活動や展示内容の工夫による成果が見られる。一方で、利用状況の分析や利用促進に係る効果検証については、更なる充実が期待される。
その他業務	B	特に重大な事故は発生しておらず、事故や災害等に備えた研修等を実施しています。省エネ対策、禁煙対策及び個人情報保護に関する職員教育も行っており、職員の意識向上に努めています。今後も施設改善及び職員教育を継続し、安全・安心な施設運営に努めます。	B	事故・災害等への対応体制はおおむね整備されており、防災訓練や職員教育も適切に実施されている。省エネ対策、受動喫煙防止対策、個人情報保護等についても適切な対応が図られている。今後も安全・安心な施設運営に向け、継続した体制整備が期待される。
修繕業務	B	施設の老朽化が進む中、来館者及び職員の安全確保、収蔵文化財の保存管理、利用環境の向上等を踏まえ、緊急性及び重要性を考慮しながら優先順位を付けて修繕を実施しました。また、LED化等の改修にも取り組みました。	A	施設の老朽化に対応し、緊急性及び重要性を踏まえた優先順位付けを行いながら、修繕が適切に実施されている。修繕台帳や市との協議体制も整備されており、LED化等、省エネにも資する改修が進められている点は評価できる。今後も安全性と文化財保全を両立した計画的な対応が期待される。
備品管理業務	B	修繕等により備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。貸与車両については日常点検及び定期点検を実施し、適正な運行管理に努めています。また、安全運転の励行についても職員へ周知徹底しています。	B	備品台帳の整備や備品管理はおおむね適切に行われており、利用者ニーズに応じた備品購入や経費節減の取組も確認できる。今後も適切な備品管理及び安全管理の継続が期待される。
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	仕様書及び関係法令に基づき、目的外使用許可に係る手続きを適切に実施するとともに、得られた収益についても適正に管理運営収入として処理しました。	B	目的外使用許可に係る手続きはおおむね適切に行われており、得られた収益についても適切に処理されている。今後も適正な運用及び透明性の確保に努められたい。

自主事業	B	地域の学術文化の発展に寄与するため、館蔵品の公開や地域作家の作品発表機会の提供等に取り組み、一定の成果を上げています。	B	各館において、設置目的に沿った展覧会や講演会等が実施されており、地域文化の振興や市民への文化還元に一定の成果が見られる。収支管理や必要な手続きについてもおおむね適切に行われている。今後は、事業効果の分析や独自性の向上を図りながら、魅力ある取組の継続が期待される。
課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	B	「今治市河野美術館を育てる会」や地域文化団体等と連携し、地域文化の振興及び成果発表の場の提供に努めました。また、「今治地方観光ボランティアガイドの会」と連携し、総合学習や校外学習等で来城する小中学生に対し、今治市の歴史・文化への理解や愛着を深めるためのガイド活動を実施しました。さらに、土日祝日における団体旅行者向け観光ガイドについても、利用者から好評を得ています。	B	地域の文化団体や学校、観光ボランティア団体等と連携した取組が行われており、文化振興や教育普及、観光振興に一定の成果が見られる。今後も継続的な連携及び地域資源を活用した取組の充実が期待される。
利用者アンケート	B	アンケート調査を形式的なものとしせず、利用者要望を踏まえた展示環境の改善や職員対応の向上に努めています。接客対応や展示内容については概ね高評価を得ている一方、施設老朽化に関する意見も見られるため、市と協力しながら改善に努めます。	B	各館とも利用者アンケートを適切に実施・分析しており、展示内容や接客対応についておおむね良好な評価が見られる。寄せられた意見への対応についても一定の取組が認められる。今後も利用者目線に立った施設改善及びサービス向上が期待される。
事故・苦情	B	重大な事故や苦情は発生しておらず、事故の未然防止及び適切な利用者対応に努めています。また、苦情内容については書面等により情報共有を図り、再発防止に努めています。	B	苦情等の記録・対応体制はおおむね整備されており、利用者対応についても一定の評価が見られる。重大な事故等の発生もなく、安全管理に留意した運営がなされている。今後も苦情対応体制の継続的な改善及び情報共有の充実が期待される。
指定管理者の経営状態			利用料金収入及び正味財産はおおむね安定して推移しており、指定管理者として適正かつ健全な経営が行われている。	

総 合 コ メ ン ト (市)

各館において、条例及び仕様書等に基づく管理運営がおおむね適切に実施されており、利用状況や収支状況についても一定の成果が見られる。特に今治城では開館以来初となる年間入館者数10万人を達成しており、展示内容や情報発信の工夫による成果がうかがえる。

また、修繕業務についても、老朽化施設への対応やLED化等、省エネにも配慮した改修が進められており、安全性及び文化財保全の観点から評価できる。

今後は、利用状況分析や事業効果の検証、障がい者雇用等の取組について、更なる充実が期待される。引き続き、地域団体等との連携を図りながら、より質の高い施設運営に努められたい。